



### ③ リサイクル分別の徹底と資源化の普及

地区リサイクル分別のさらなる推進にご協力をお願いします。

現在ご家庭に配布しております資源物（20分別）の分け方・出し方の一覧（A3版）について、改訂版を作成し今年度配付を予定しております。

### ④ 氷川町行政区活動活性化交付金

今年度から施行されました「氷川町行政区活動活性化交付金（旧：氷川町地区活性化交付金）」の交付金額の算定において、加算額として「ごみ減量化推進活動」の項目が設けられました。

これはリサイクルの日（第3日曜）に地区で回収された資源（紙類、缶類、ペットボトル、その他）で、クリーンセンター搬入以外のリサイクル業者などで処理された量1kgあたり20円を乗じた額が加算されます。

### ⑤ 事業系ごみの対策

事業系のごみについても、特に減量化が必要になります。

- ・事業所用電気式生ごみ処理機の導入促進
- ・事業所におけるリサイクルの推進
- ・クリーンセンターへの搬入基準の見直しを実施します。



## 事業所用電気式生ごみ処理機購入費助成金

事業所用電気式生ごみ処理機購入費の2分の1以内（上限50万円）

平成29年3月に設置し、公共施設から出る生ごみについては、事業所用生ごみ処理機により減量化を進めております。

#### 【公共施設への設置場所】

- 氷川町学校給食共同調理場
- 氷川中学校給食調理場
- 宮原小学校給食調理場
- 氷川町竜北物産館（ビストログリーン）
- 常葉保育所調理場



<氷川町学校給食共同調理場の1年間の処理実績>

処理前の重量	処理後の重量	減量化率
1,685.7kg	266.5kg	84.2% (△1,419.2kg)

## ⑥ 町指定ごみ袋の価格改定（令和2年4月1日改定）

町指定ごみ袋の価格改定の詳細については、広報誌10月号に折り込みチラシでお知らせしました。  
 <指定ごみ袋の改定内容>

項目	現 行	改定後 令和2年4月1日より
可燃ごみ袋（大）	20円/枚	30円/枚
可燃ごみ袋（小）	10円/枚	15円/枚

※現行のごみ袋は令和2年6月まで使用できます。

## 【家庭ごみ(可燃) 1週間の中身モニター調査の結果】

町職員4世帯(2~7人)可燃ごみ袋の中身の重量調査を実施しました!

品 目	重 量		割 合	
	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル可	リサイクル不可
生ごみ		③12,090g		56.3%
紙類（チラシ、雑誌等）	750g	1,920g	3.5%	9.0%
布類	1,100g	650g	5.1%	3.0%
ペットボトル	50g	120g	0.2%	0.6%
白色トレイ	250g	310g	1.2%	1.4%
「プラ」マーク容器包装	790g	690g	3.7%	3.2%
「紙」マーク容器包装	1,670g	510g	7.8%	2.4%
「プラ」マーク以外の塩ビ類	0g	550g	0.0%	2.6%
小 計	②4,610g	16,840g	21.5%	78.5%
リサイクル可：不可の割合	21.5%	78.5%		
合 計	①21,450g		100.0%	

※<リサイクル可>分別を意識し努力したり、きれいに洗えばリサイクルに出せる資源ごみ  
 ※<リサイクル不可>生ごみや汚れが取れないなどリサイクル出来ない可燃ごみ

### 調査結果

4世帯の1週間の可燃ごみは合計で①21,450gでした。そのうち、約21%の②4,610gは努力すればリサイクルの日に出せるものでした。

また、全体の約56%を占める生ごみの合計③12,090gの内、80%が電気式生ごみ処理機で処理できる量と仮定し、1/8に減量化できた場合、④8,463g軽くなります。

上記の計算：③12,090g × 80% × (1-1/8) = ④8,463g

よって可燃ごみの総重量①21,450g - ②4,610g - ④8,463g = 8,377g

☆約2/5に減量化出来ることとなります。

電気式生ごみ処理機などを利用して、さらなるリサイクルに努めれば、今よりもっと可燃ごみを減量化できます。ひとりひとりのわずかな減量でも町全体では大きく効果があります。ぜひ減量化に努められますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 町民課 戸籍環境係 ☎0965-52-5851